



取扱説明書(マツダ編)

ご使用になる前に	2
はじめに.....	3
安全にご利用になるために	4
診断機能	6
自己診断機能	7
作業サポート機能.....	14

ご使用になる前に

はじめに.....	3
安全にご利用になるために.....	4

本取扱説明書では、マツダ車の診断機能に関してご説明させていただきます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。



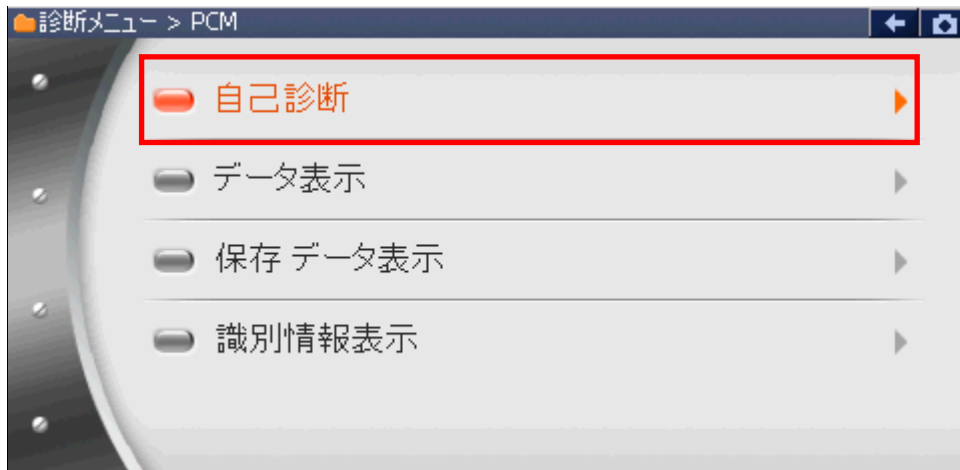
注意

- マツダ車または、マツダ製造のOEM車以外に使用しないでください。

診断機能

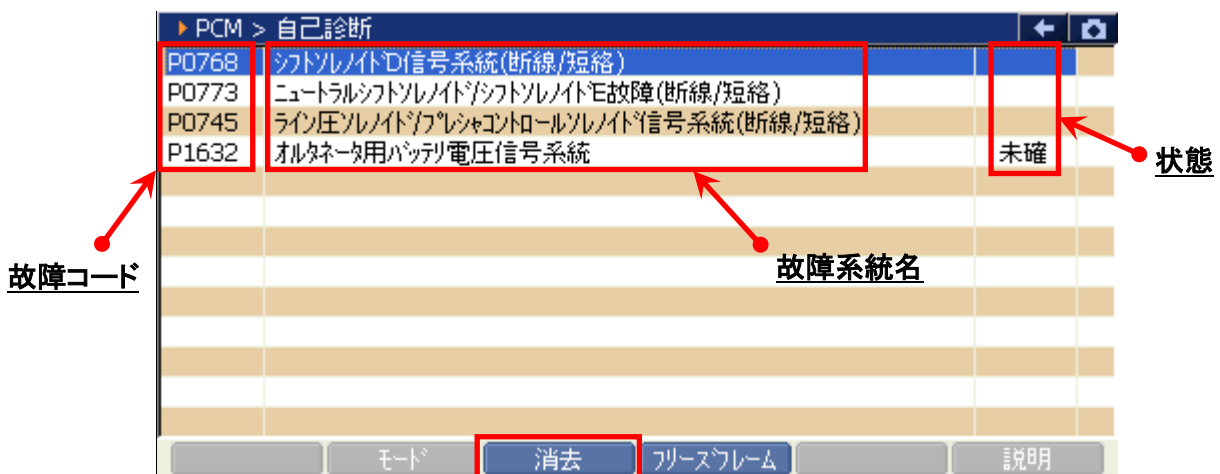
自己診断機能	7
作業サポート機能.....	14

1) 診断メニューにおいて『自己診断』選択して、**ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図: 自己診断画面〉

故障コード : マツダ独自の故障コードNo.又はSAEコード(例:P0135)が表示されます。

故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、マツダのサービスマニュアルをご参照ください。

状態 : 「未確」 :2トリップ連続検出法(誤診断防止のため、IG SWのOFF/ONをはさんだ2回の連続する走行で2回とも同じ故障が検出されないと故障と判断しない。)を使用した故障コードで、1回目の検出を意味します。

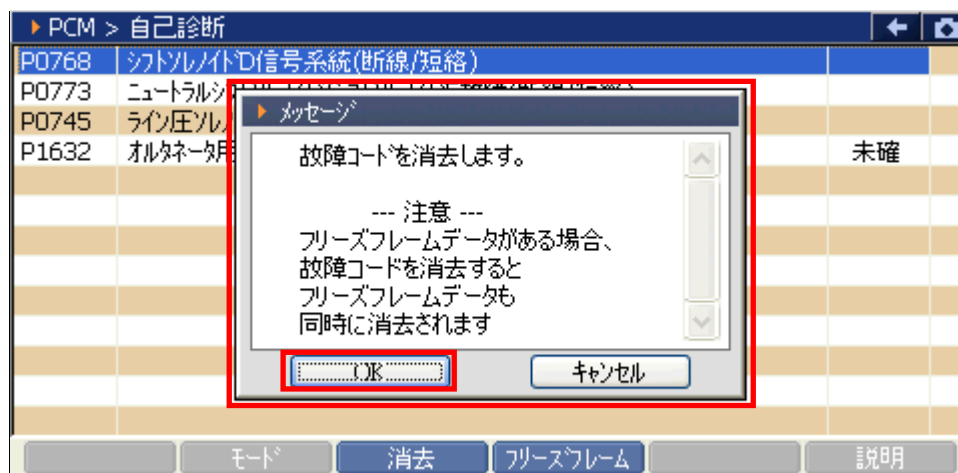
消去 自己診断記憶を消去します。

フリーズフレーム フリーズフレームデータを表示します。

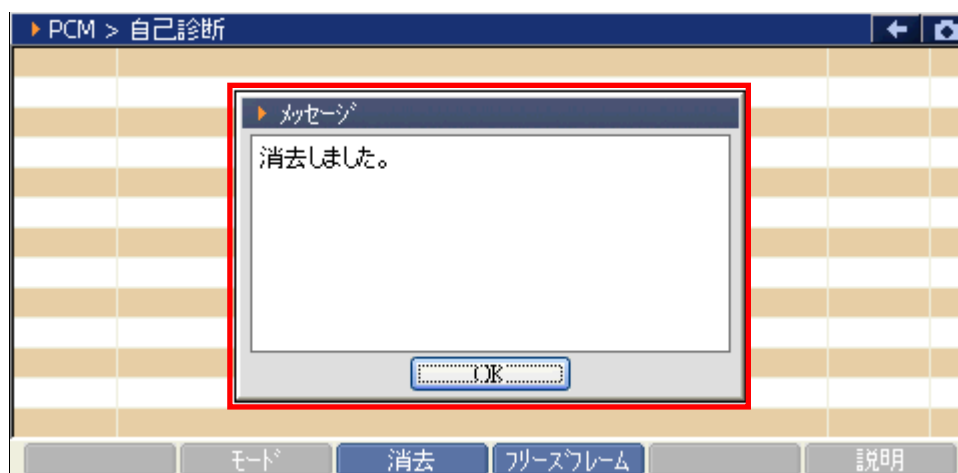
※注意と補足※

- ・ フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU(エンジンコンピュータ)によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードの種類には関係なく決まった種類(主にエミッション関係)のデータが記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- ・ フリーズフレームデータは故障コードを消去する時に同時に消去されます。
- ・ フリーズフレームデータの表示はPCMのみ対応です。

- 3) **消去** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、**OK** ボタンをタッチして故障コードを消去してください。



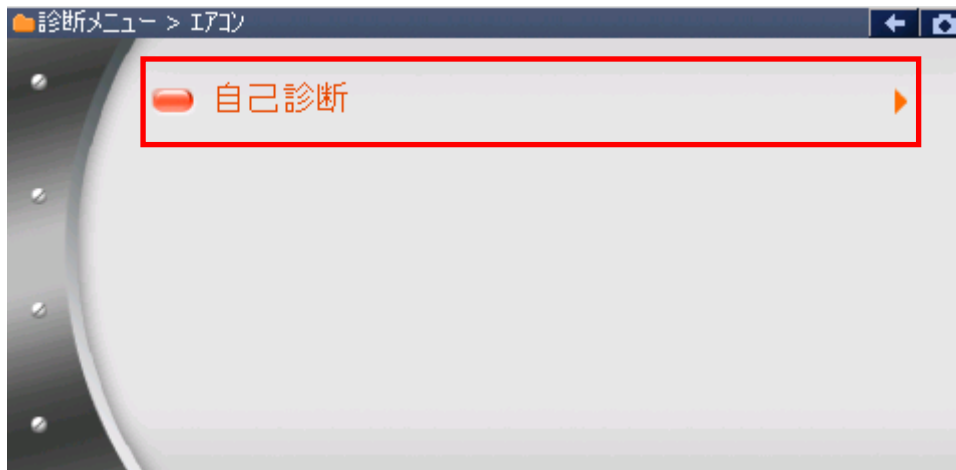
〈図: 故障コードの消去〉



〈図: 故障コードの消去完了〉

パルス読み取りの場合

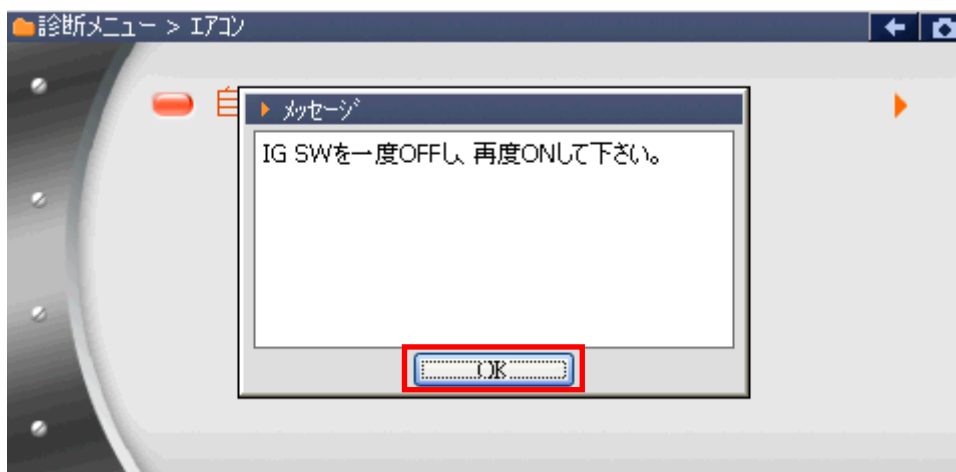
1) 診断メニューにおいて『自己診断』を選択して、 ボタンを押してください。



〈図:パルス読み取り 診断メニューにて自己診断を選択〉

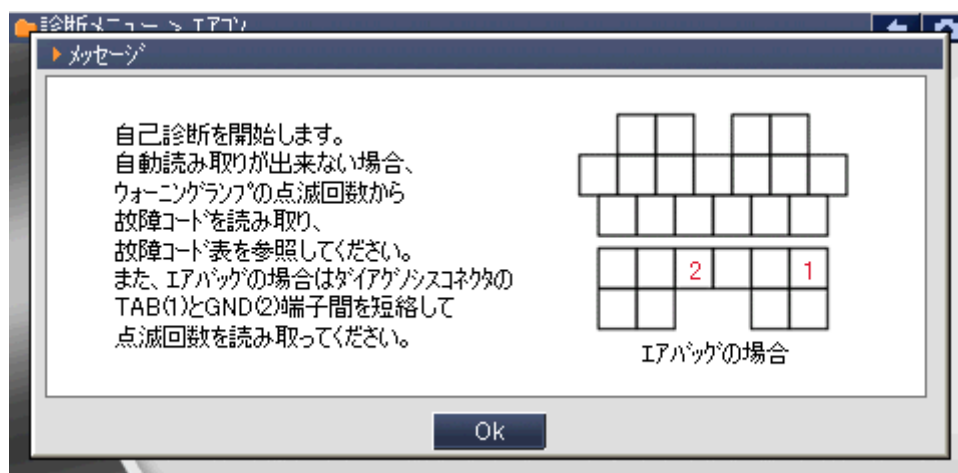
2) 以下のメッセージが表示されます。

IG SWをOFFにし、再度IG SWをONにしてください。IG SWをON後 ボタンをタッチしてください。



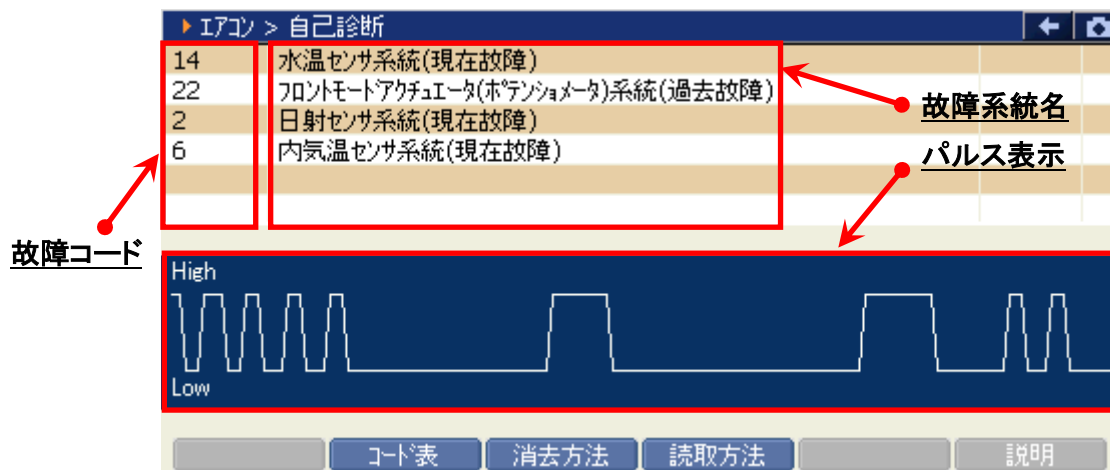
〈図:IG SWのOFF→ON〉

3) 確認メッセージが表示されますので **Ok** を押して進んでください。



〈図: 自己診断確認メッセージ〉

4) 自己診断結果が表示されます。



〈図: パルス読み取り 自己診断結果画面〉

故障コード : マツダ独自の故障コードが表示されます。


故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、マツダのサービスマニュアルをご参照ください

パルス表示部 : ウォーニングランプの点滅状態がパルスで表示されます。

コード表 コード表を表示します。

消去方法 自己診断記憶を消去します。

読取方法 故障コードの読取方法を表示します。

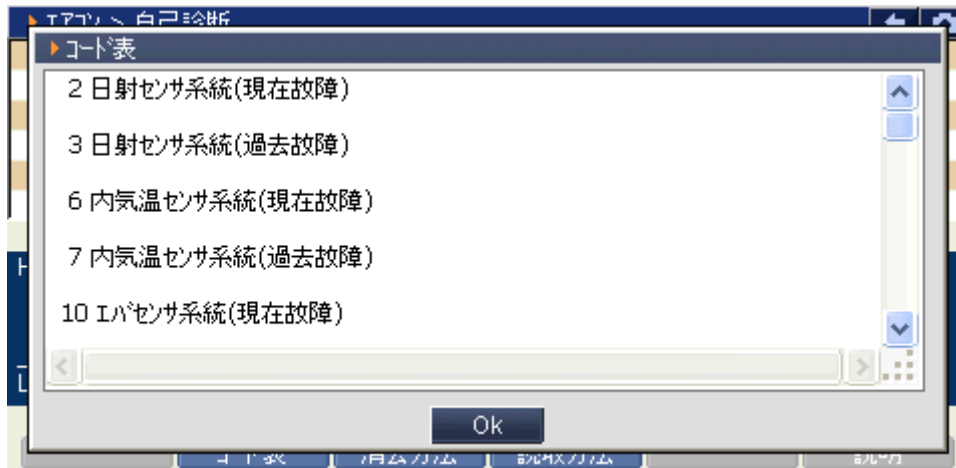
- 5) **消去方法** ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと故障コードの消去方法が表示されます。表示された消去方法に従って、故障コードを消去してください。



〈図:パルス読み取り 消去方法の表示〉

コード表 ボタンの詳細

- ① **コード表** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと、現在選択しているシステムの故障コード表が表示されます。



〈図:コード表の表示〉

読取方法 ボタンの詳細

- ① **読取方法** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと、ウォーニングランプによる故障コードの読み取り方法が表示されます。



〈図:読取方法の説明〉



警告

- 作業サポートはマツダのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目一覧は以下のとおりです。

<<PCM>>

項目	説明
DPFデーターリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: 排気系装置系統を交換した時に実施します。
DPFリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: PCMまたはキャタリスト・コンバータを交換した場合、実施します。
DPF圧力センサリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: 排気系装置系統を交換した時に実施します。
DPF再生	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: DPFを再生する時に実施します。
DPF診断	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: DPF機能を確認する時に実施します。
ETB/EGRリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: ETBまたはEGRバルブを交換した時に実施します。
ETB/EGR初期化	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: ETBまたはEGRバルブを交換した時に実施します。
MAFセンサリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: エアフロセンサ、吸気シャッターバルブを交換した時に実施します。

O2/空燃比(A/F)センサ	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: O2またはA/Fセンサを交換した時に実施します。
PCMデータリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: PCMを交換した時に実施します。
インジェクタリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: インジェクタを交換した時に実施します。
インジェクタ登録	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: インジェクタを交換した時に実施します。
エンジンオイルリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: エンジンオイルを交換した時に実施します。
燃料ポンプリセット	ディーゼル車(エンジン型式:RF-CDT)のみ対応: 燃料ポンプを交換した時に実施します。

<<TCM>>

項目	説明
トランスミッション学習	コントロールバルブボデー、オイルプレッシャスイ チ、オートマチックトランスアクスルを交換した場合 に実施します。

<<ABS>>

項目	説明
ブレーキフルードプレッシャセンサ	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
ヨーレートセンサ	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
ヨーレートセンサ(DSC付きのみ)	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
横Gセンサ(DSC付きのみ)	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
横Gセンサ初期化	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
縦Gセンサ	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。
舵角センサ	DSC HU/CMまたはSASコントロールモジュール を交換した場合に実施します。

<<SRSエアバッグ>>

項目	説明
RCMモジュール設定	SASコントロールモジュールを交換した場合に実施 します。

<<IC>>

項目	説明
メーター 警告灯/チャイム設定	メーターの警告灯、チャイムの設定内容を変更します。
メーター設定	メーターの設定を変更します。

<<PATS>>

項目	説明
アドバンスドキー消去/追加	アドバンスドキーの消去または登録する時に実施します。
アドバンスドキー追加	アドバンスドキーを追加する時に実施します。
イグニッションキーコードの消去/登録	イグニッションキーの消去または登録する時に実施します。
イグニッションキーの消去/登録	キー関連のデータを消去する時に実施します。
イグニッションキー追加	イグニッションキーを追加する時に実施します。
カスタマースペアキー登録無効	カスタマースペアキーの登録を無効にします。
カスタマースペアキー登録有効	カスタマースペアキーの登録を有効にします。
ステアリングロックユニット登録	ステアリングロックユニットを交換した時に実施します。
スペシャルサービスモード	登録されたキーを持っていない時に実施することができます。
パラメータリセット	イモビライザ関連のデータをリセットします。
リモートプログラミングモード	リモートキーを登録する時に実施します。


<<EPS>>

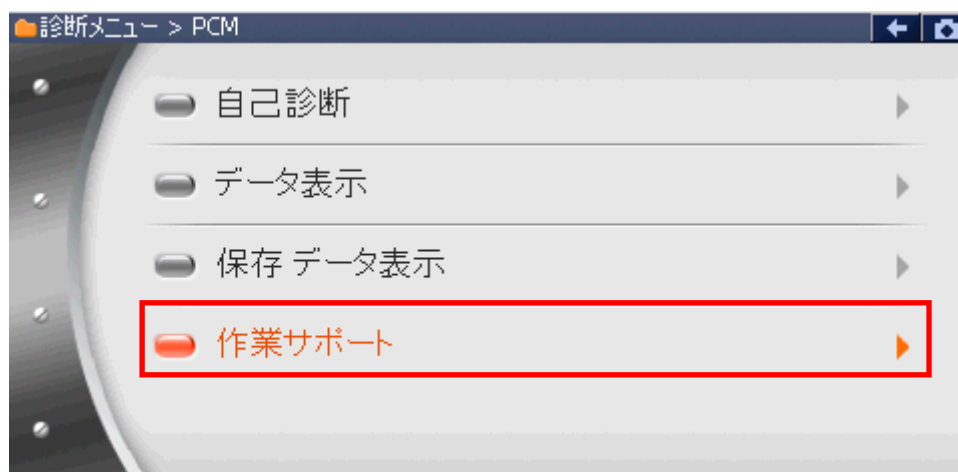
項目	説明
EPSモジュール設定	EHPASコントロールモジュールを交換した時に実施します。
ニュートラルポジション設定	EHPASコントロールモジュールを交換した時に実施します。

◀ PCM 作業サポート「インジェクタ登録」 ▶


警告

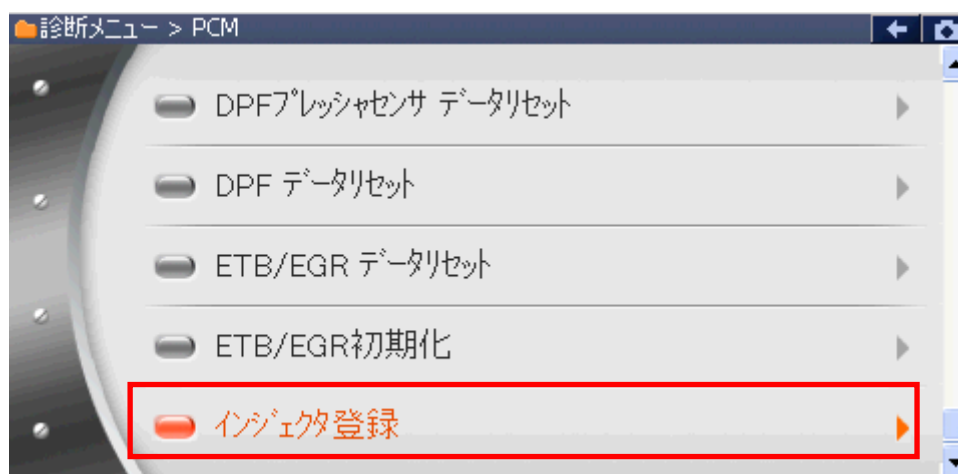
- インジェクタ登録を行う場合は、マツダのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



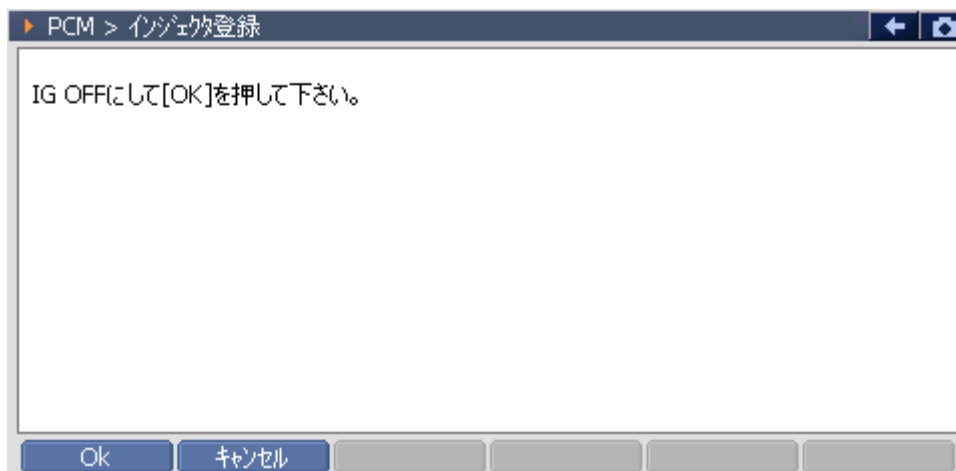
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。インジェクタ登録を選択して  ボタンを押してください。



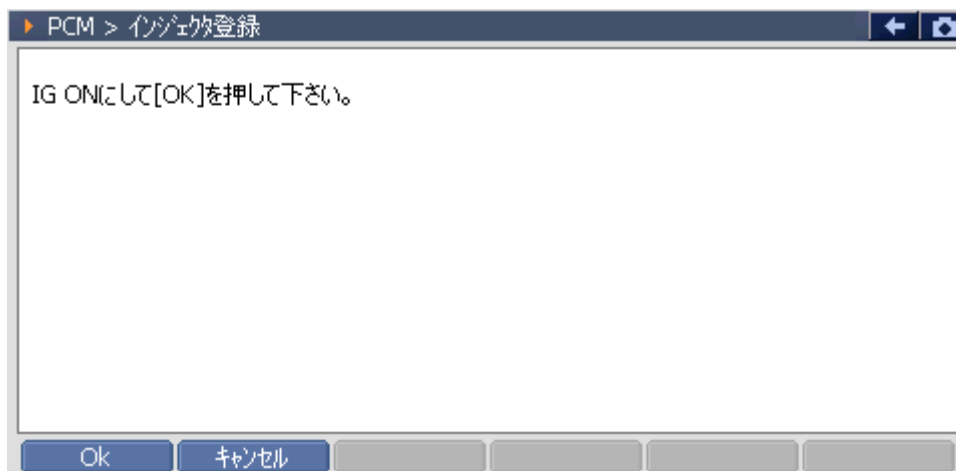
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 3) インジェクタ登録に必要な車両の状態が表示されます。車両の状態をIG OFFにしてよろしければ **Ok** ボタンを押してください。



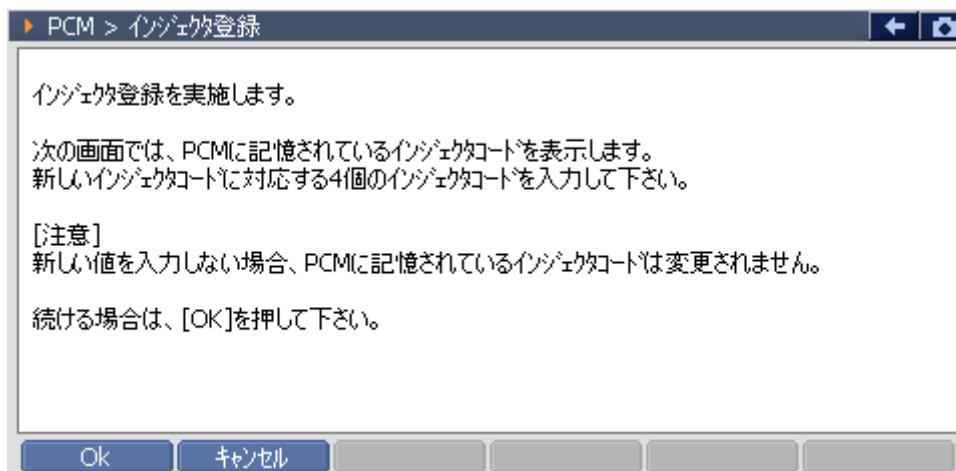
〈図:インジェクタ登録 車両状態確認画面〉

- 4) インジェクタ登録に必要な車両の状態が表示されます。車両の状態を確認してよろしければ **Ok** ボタンを押してください。



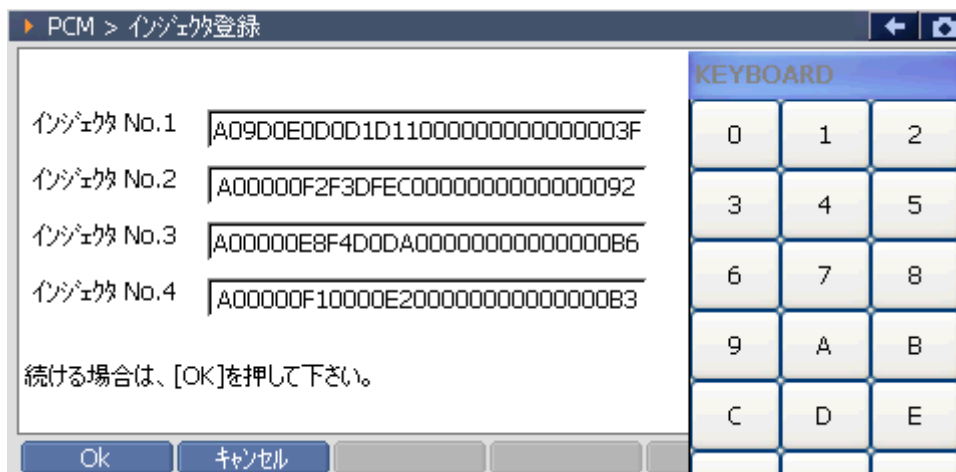
〈図:インジェクタ登録 車両状態確認画面〉

- 5) インジェクタ登録に関する注意事項が表示されます。注意事項を確認してよろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: インジェクタ登録 注意画面〉

- 6) 現在登録されているインジェクタIDが表示されます。修正するインジェクタIDにインジェクタコードを入力してください。入力完了後、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: インジェクタ登録 ID入力確認画面〉

※注意と補足※

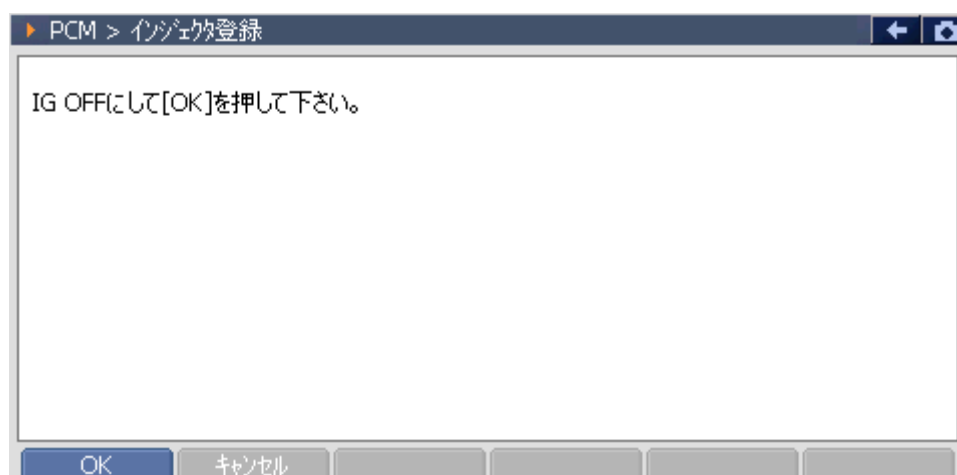
- マツダのインジェクタコードについては、以下のように表示されています。
黄色の枠内の30桁がインジェクタコードになります。インジェクタコードを入力する場合、
矢印(→)の順番で入力してください。

<車両:ボンゴバン 車両型式:SK系 エンジン型式:RF-CDT 年式:平成21年3月の例>



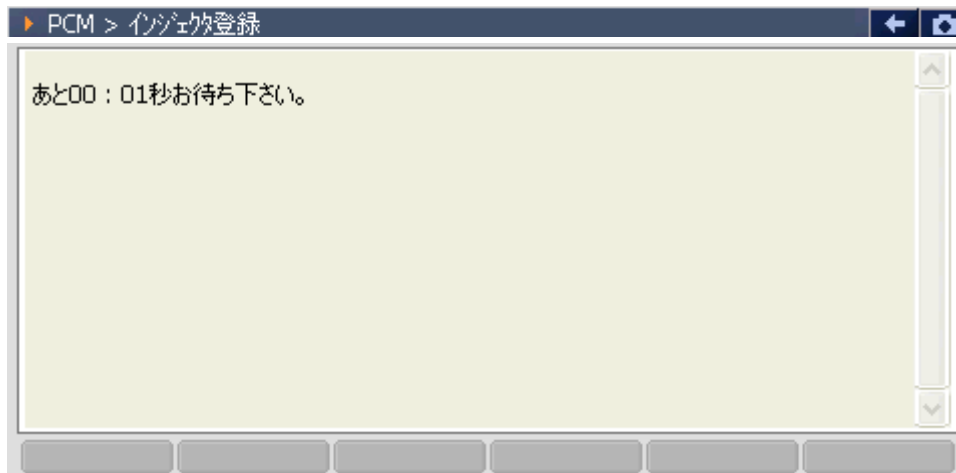
<図:インジェクタコードの説明>

- 7) 車両の状態を変更する指示が表示されます。車両をIG OFFにして、Ok ボタンを押してください。



<図:インジェクタ登録 車両状態確認画面>

8) インジェクタコードを登録しています。しばらくお待ちください。



〈図:インジェクタ登録 インジェクタコード登録中画面〉

9) インジェクタコードを登録が完了すると、以下のように表示されます。
ボタンを押して終了してください。

Ok




〈図:インジェクタ登録 インジェクタコードを登録完了画面〉

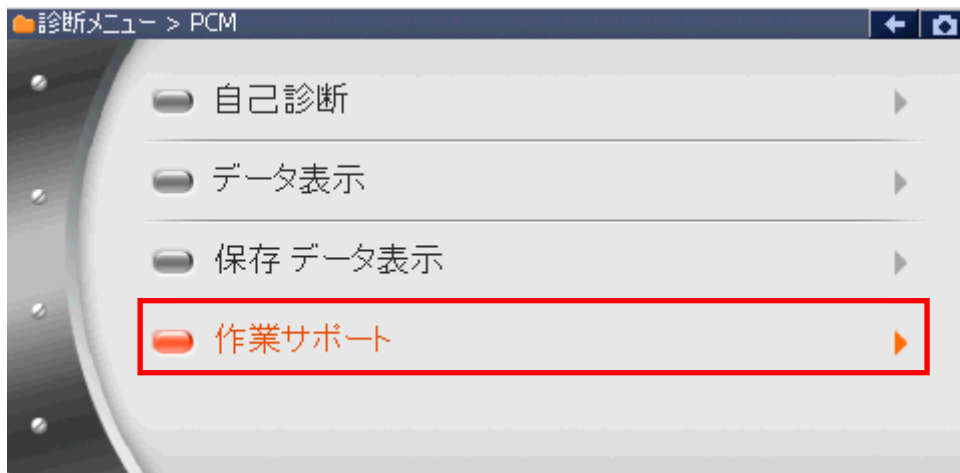
◀ PCM 作業サポート「DPF再生」 ▶




警告

- DPF再生を行う場合は、マツダのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



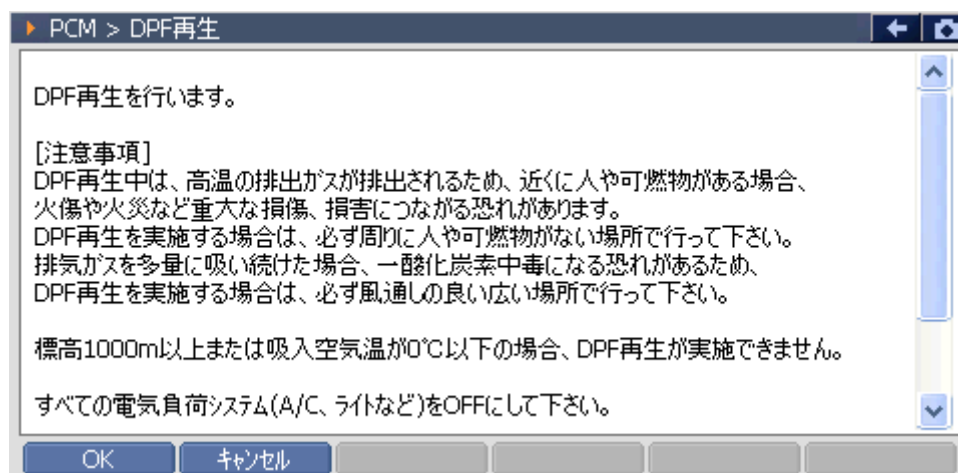
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。DPF再生を選択して  ボタンを押してください。



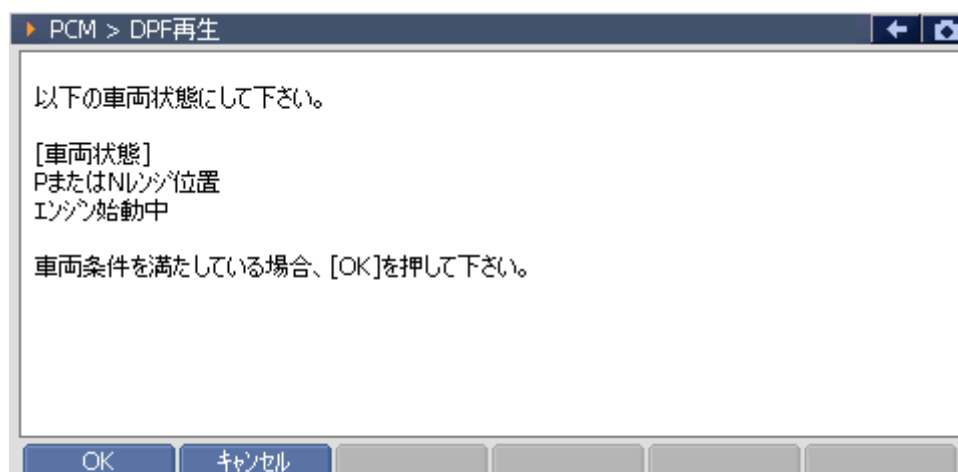
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 3) DPF再生を選択した場合、以下の注意事項が画面に表示されます。注意事項を確認して、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



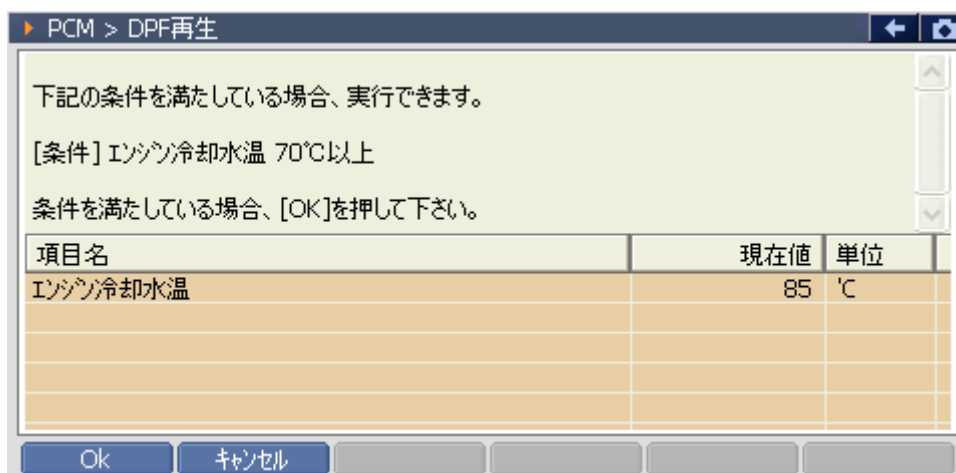
〈図:DPF再生 注意事項確認画面〉

- 4) DPF再生を実行するための車両状態が表示されます。車両状態を確認して、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



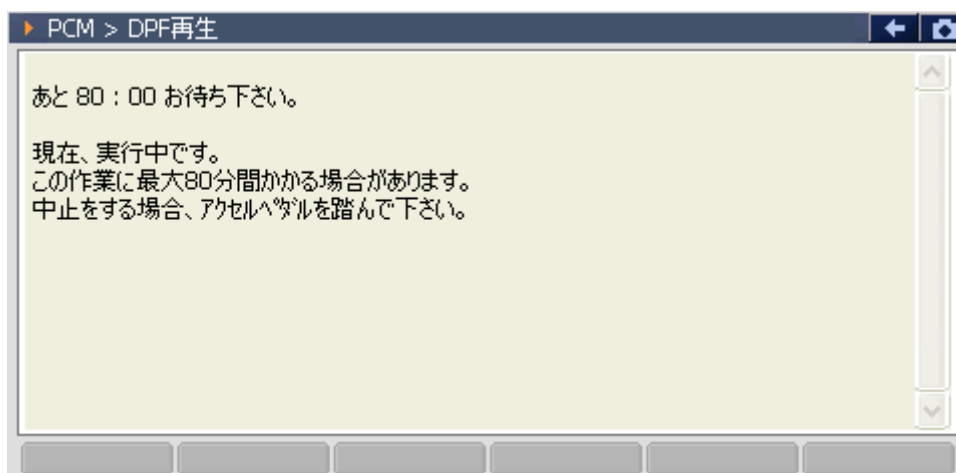
〈図:DPF再生 車両状態確認画面〉

- 5) DPF再生を実行するための条件が満たされているか確認する画面が表示されます。条件を確認して、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図:DPF再生 条件確認画面〉

- 6) DPF再生が開始されると、下記の画面が表示されます。DPF再生が完了するまで、しばらくお待ちください。

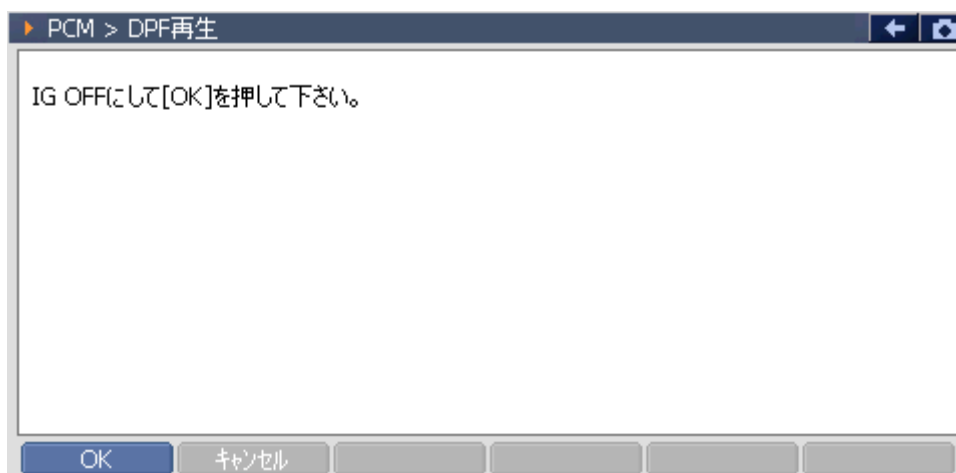


〈図:DPF再生 DPF再生画面〉

※注意と補足※

- ・ 通常、DPF再生には約20分程度かかります。車両の状態によっては、最大80分間かかる場合があります。

- 7) DPF再生が完了すると、下記の画面が表示されます。画面の指示に従い、車両をIG OFFにしてください。よろしければ **Ok** ボタンをタッチしてください。



〈図:DPF再生 DPF再生後画面〉

- 8) DPF再生が完了したメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押して終了してください。



〈図:DPF再生 DPF再生完了画面〉



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021 Fax 029-303-8022

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 0570-064-737 → ② (ナビダイヤル※)

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 → ① (ナビダイヤル※)

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2020年10月発行 第15版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-7-15